希望新聞

東日本大震災希望新聞取材班
〒100−8051（住所不要）毎日新聞生活報道部
ファクス03・3212・5177
メールkibou@mainichi.co.jp

被災地に役立つ情報や「伝言板」への投稿をお待ちしています。被災者の今困っていることも募集します。投稿は、氏名、住所、年齢、職業、電話番号（あればメールアドレスも）を明記してください。

東日本大震災 サポート情報

26日現在

労働・雇用

〈岩手県〉

多重債務、心の健康についての無料相談 いわてキャリアアップハローワーク（盛岡市菜園1盛岡菜園センタービル2階）が、就職活動中の被災者を対象に無料で多重債務、心の健康に関する相談を受け付けている。施設内のセミナー室で専門の弁護士、臨床心理士がそれぞれの相談に応じる。

多重債務は7月1、15日、8月5、19、31日、9月16日。心の健康は7月7、21日、8月4、18日、9月1、15日。いずれも13〜17時。相談は1人あたり40分間で、事前に予約が必要。問い合わせ、申し込みはキャリアアップハローワーク（☎019・908・2060）へ。

〈宮城県〉

就活バスツアー 宮城労働局が7月7日、大阪市である近畿ブロック大学等就職フェア2011に、被災地からバスで参加するツアーを企画、参加者を募集している。東日本大震災で被災した12年3月卒業予定の学生と、09年3月以降の既卒者が対象。

6日午後6時に石巻専修大（石巻市）、午後8時半にJR仙台駅（仙台市）を出発、大阪市に到着後、7日午前に被災学生採用に積極的な関西の企業面接会（16社）、午後に就職フェア（約200社）に参加する。

8日午前6時にJR仙台駅、午前8時半に石巻専修大に戻る予定。面接前に身支度を整えるため、シャワーを浴びられる。参加無料だが、飲食費などは自己負担。定員は先着で65人。問い合わせ、申し込みは仙台新卒応援ハローワーク（☎022・726・8055）まで。

〈福島県〉

合同企業説明会 ふくしま地域共同就職支援センターが、合同企業説明会を企画。会場に個別ブースを設けて、企業と求職者の面接会を実施するほか、県やハローワークなどが職業相談を受け付ける。無料、申し込み不要。日程と会場は次のとおり。

7月5日＝会津アピオスペース（会津若松市インター西90）▽10日＝郡山ビューホテルアネックス（郡山市中町10）▽29日＝ビッグアイ（郡山市駅前2）▽8月10日＝いわきワシントンホテル（いわき市平一町目）▽25日＝コラッセふくしま（福島市三河南町1）―いずれも13〜16時。問い合わせはふくしま地域共同就職支援センター（☎024・973・5292）まで。

給付・貸付

社会福祉協議会が緊急貸し付け 東日本大震災で被災したり、原発事故で退避指示となったりした地域に住所のある世帯を対象に、10万円（家族に死亡者がいるなどの場合は20万円）を貸し付ける。

無利子で返済期間は2年。連帯保証人は不要。ただし、期限内に返済が終わらなければ利子が発生する。

住所が確認できる身分証と印鑑が必要。避難先の市区町村社会福祉協議会で申し込む。

入浴

自衛隊が27日に設置予定の仮設風呂と時間。タオルは持参、貴重品は自己管理する。

〈岩手県〉

津軽石小（13〜22時）▽山田高（13〜21時）▽シープラザ釜石（12〜21時）▽リアスホール（13時〜21時半）▽米崎小（13〜22時）▽大槌町ふれあい公園（12〜21時）

〈宮城県〉

気仙沼市民会館（男性8時〜13時半、女性14〜20時）▽本吉総合体育館（男性10〜13時、16〜19時、女性13〜15時、19〜21時）▽南三陸町ベイサイドアリーナ（13〜20時）▽女川総合運動公園（8時半〜20時半）▽石巻市消防本部グラウンド（13〜21時）▽サン・ファン・バウティスタ・パーク駐車場（13時〜20時半）▽山元町役場（15〜22時）▽亘理町中央児童センター（13〜21時）▽あいプラザ・石巻横（15時半〜20時）▽鹿妻小（シャワーのみ、16〜20時）▽万石浦中（シャワーのみ、12〜20時）▽青葉中（シャワーのみ、14〜20時）▽航空自衛隊松島基地（男性11〜13時、女性14〜16時）

〈福島県〉

あづま総合運動公園（13〜21時）▽田村市旧春山小学校（15〜17時、18〜21時）▽ビッグパレットふくしま（乳幼児・要介護者14時半〜15時、一般15〜21時）

集会所がほしい

被災者が求める物資や人的支援情報をお知らせします。必ず事前連絡をお願いします。

■遠野まごころネット
（岩手県遠野市）☎0198・62・1001
tonomagokoro@gmail.com
http://tonomagokoro.net/

仮設住宅に集会所設置を 仮設住宅には、地域によって集会所があるところとないところがある。人が集まれる場所があれば、コミュニティーの形成を促すことができる。また、交通手段が充実していない仮設住宅もあり、高齢者や体が不自由な人の中には、通院や買い物ができない人もいる。

■ふくふくプロジェクト
（福島市）☎024・522・4533
f-ssc@bz01.plala.or.jp
http://www.f-npo.jp/

子ども向けワークショップへの支援に感謝 25日に福島市のあづま総合体育館（避難所）で、「未来の海」をテーマに街の模型を作る第4回ワークショップが開かれた。14日、希望新聞で支援を求めたはさみや色紙などの工作用具が全国からたくさん届き、支援された用具だけで開催できた。会場はたくさんの子どもたちの笑顔であふれ、つかの間の楽しい時間が流れた。

企画した福島市と東京の建築家や美術家らの「コドモノエガクマチ実行委員会」は、「たくさんの物資や手紙に励まされました。みなさんに感謝の気持ちを伝えたいです」と話している。

ニーズ情報

消費者庁 東日本大震災発生から6月22日までに、被災地（岩手、宮城、福島、茨城の4県）の消費者から国民生活センターや各地の消費生活センターに寄せられた相談が5610件に上ったと発表した。不動産貸借に関する相談が最も多く、震災に便乗した悪質な勧誘も目立った。

相談の内訳は不動産貸借が693件（12・4％）と最多。ガソリンが547件（9・8％）と次に多かった。以下、工事・建築が533件（9・5％）▽修理サービスが370件（6・6％）▽フリーローン・サラ金が213件（3・8％）―などと続いた。

不動産貸借についての相談は「被災したアパートから退去する場合、違約金を請求された」「原発事故の警戒区域にあるアパートから避難しているが、家賃を支払う義務は生じないと考えられる」とアドバイスする。

一方「業者に屋根の修理を依頼したが、高額な代金を請求された」「震災で倒れた墓石を勝手に修理され、高額な料金を求められた」「亡くなった妻宛てに、消費者金融から請求書が届いた」などという震災に便乗した悪質な商法に関する相談も多かった。消費者庁は「不審に思ったときは相談してほしい」と呼び掛けている。

主な相談窓口は以下のとおり。震災に関連する悪質商法110番（☎0120・213・088、岩手、宮城、福島、茨城県の被災者と県外への避難者が対象、10〜16時）▽消費者ホットライン（☎0570・064・370、身近な自治体の相談窓口を案内）▽住まいるダイヤル（☎0120・330・711、03・3556・5147、住宅の補修・再建について、被災地のみ、日と祝日を除いた10〜17時）▽住宅金融支援機構コールセンター（☎0120・086・353、048・615・0420、災害復興住宅融資について、被災地のみ、9〜17時）

【水戸健一】

被災地で目立つ 不動産貸借相談

「便乗した悪質勧誘に注意を」消費者庁

隣人同士で支え合う

三陸支局だより

「いつまでこんなんだっぺなあ」

岩手県などで23日、震度5弱の地震があり、陸前高田市では津波注意報を伝える防災無線が響いた。同市内の仮設住宅に住む阿部澄子さん(76)と佐藤ユキ子さん(79)は同時に外へ飛び出し、顔を見合わせた。

2人が住んでいた市営住宅は津波で流され、独り身の女性が何人も命を落とした。「鈴木さーんってお隣を呼んだけど、返事がないからてっきり先に逃げたと思ったのす」と阿部さん。「シルバーカーにもたれて、座り込んでる人もいた。きっと途中であきらめでしまったんだあ」と佐藤さん。ともに何年も前に夫に先立たれ、1人暮らしをしてきたが、あんなに心細い思いをしたことはない。

仮設住宅で隣り合わせになった阿部さん（左）と佐藤さん＝岩手県陸前高田市で23日

顔見知りでしかなかった2人は偶然、仮設住宅で隣り合わせになった。「知らない人ばかりだったから、ほっとしたよねえ」。出かける時、戻った時、玄関口に履物があれば一声かける。「お茶っこ飲んでけ」と、時折部屋に招く。

津波注意報に心乱されたのか、佐藤さんがはらはらと涙を流し、止めどなくあの日のことを語り始めた。「何でもしゃべって吐き出したほうがいいんだよ」阿部さんが、優しい言葉をかけた。【市川明代、写真も】

◇

「三陸支局だより」は、5月に岩手県釜石市に開設した三陸支局の記者、市川明代と神足俊輔が、被災地でひたむきに暮らす人々のいまをお伝えします。毎週月曜日に掲載予定です。

「被災地で復興の花火を」 実行委が寄付金受け付け中

ライトアップニッポンのロゴ＝実行委提供

大震災で被害を受けた複数の自治体で8月11日午後7時、追悼と復興の花火を一斉に打ち上げるイベント「ライトアップニッポン」が開かれる。

開催地は宮城県では初めて気仙沼市が加わり、これまで岩手県陸前高田市、大船渡市、釜石市、大槌町、山田町、福島県南相馬市、いわき市の計8カ所が決まっている。

震災後、全国で花火大会の自粛が決まる中、「被災した一つ一つのまちが花火を打ち上げることで、東北、日本全体を明るくしたい」と、被災地内外の有志が企画した。

花火の数は個人の寄付金と企業の協賛で決まるため、実行委が協力を呼びかけている。募金は1口1000円。7月末までイベントのウェブサイト（http://lightupnippon.jp/）で受け付ける。実行委によると、花火大会で「一般的な3号玉は3口、尺玉と呼ばれるメーンの10号玉は50口で打ち上げられるという。

ボランティアも募集

また実行委は、イベント当日に現地で交通整理や事務作業をするボランティアも募集している。開催地ごとに約100人の人員が必要。宿泊の有無で二つの参加方法がある。

問い合わせ、申し込みは宿泊ありがJTB法人東京（☎03・6213・0952）、宿泊なしが近畿日本ツーリスト（☎0570・064・205）。

イベント

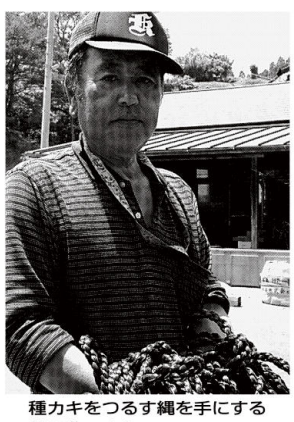
壊滅的な被害を受けた三陸鉄道や沿線の被災者を応援するため、東北のローカル鉄道事業者が連携して、「東北ローカル線復興支援キャンペーン」を始める。問い合わせはいずれも同キャンペーン事務局☎022・791・7526へ。

津軽鉄道けっぱれ！フェスタ 28日13時40分〜17時、青森県中泊町総合文化センターパルナス（中里駅からシャトルバス運行）。13時40分から津軽五所川原駅ホームで、大石まどかさん、伍代夏子さん、杉良太郎さん、城之内早苗さんが一日駅長に就任。辞令交付後、津軽弁の解説付き「津軽弁列車」に乗り込む。14時半から会場では、一日駅長と地元三味線グループが共演。沿線の農家の「カッチャ（津軽弁でお母さん）」による農産品の試食と直売会は12時から開かれる。イベントに併せ、当日限り有効のフリー乗車券（1000円）も発売。

がんばろう！「三鉄」の集い 29日12時〜16時、三陸鉄道宮古駅前広場（雨天は宮古市民総合体育館シーアリーナ）。伍代夏子さん、杉良太郎さん、瀬川瑛子さん、山本譲二さんが一日駅長を務めるほか、東北ローカル鉄道各社のキャラクターが集結する。ピンバッジやキーホルダー、ストラップなど各社のグッズも販売する。

がんばろう東北の鉄道！リレー写真展 震災以降、貸し切り列車のキャンセルなどで観光客が激減した東北ローカル線を応援するため、震災以前の列車の雄姿や被災の状況、復興へ向けて頑張る姿を写真で伝える。東北地方を巡回して開催。30日までの9時半〜16時、秋田内陸縦貫鉄道比立内駅イベントスペース▽7月16〜31日、津軽鉄道津軽中里駅など▽8月13〜28日、山形鉄道宮内駅▽9月17日〜10月2日、会津鉄道会津田島駅（予定）▽10月ごろ、仙台市の東北福祉大「鉄道交流ステーション」。

海で復興しなければ



種カキをつるす縄を手にする菅野豊二さん

岩手 陸前高田市の広田湾漁協気仙支所養殖組合長の菅野豊二さん(62)「津波で養殖のカキも漁船も施設もすべて流されました。来シーズンの収入はゼロ。漁業をやめた仲間もおり、組合員は半減しました。それでも、これまで海で生活してきたから、海で復興しなければね。カキよりも早く収穫できるワカメの養殖にも、仲間と一緒に取り組み始めました。少しでも高い値がつけばと願っています」【伊藤奈々恵】

福島 富岡町から郡山市の県農業総合センターに避難している古内和江さん(34)「富岡町で和菓子屋をやっており、私の夫で8代目の老舗です。4世代家族7人で避難してきました。うちのまんじゅうを食べたいと言ってくれる人がいるので、早く戻って店を開きたいのですが、帰っても住めるのか不安です。あきらめたくはないけれど、もう帰れないのではないかとも思ってしまいます。娘2人は元気にやっていますが、知らない間にストレスがかかっていないかが心配です」【松本惇】

長女さくらさん(13)＝左＝と次女蘭さん(9)＝右手前＝と一緒に、七夕の飾り作りをする古内和江さん

声 被災者から

■被災地へボランティアに行くには■

各地の災害ボランティアセンター（VC）が被災地で活動するボランティアを募っている。電話で問い合わせる前に各サイトで情報の確認を。また、被災地に赴く前に居住地の社会福祉協議会でボランティア活動保険に加入することが望ましい。主なVC窓口は次の通り。

＜岩手県＞

県VCや各社協が内陸部に拠点を設け、沿岸部の被災地に送迎バスを出している。

◆県VC ☎019・637・7594 サイトでは個人参加できるボランティアバスの運行状況や各VCの募集情報を公開中

◆遠野市VC「遠野まごころネット」 ☎0198・62・1001 遠野市総合福祉センター発着便で沿岸部の被災地に毎日ボランティアを派遣。登録も随時受け付け。要事前申し込み。寝袋持参で体育館宿泊可

◆宮古市VC ☎090・4478・3984 個人、団体とも1週間前までに電話連絡を

◆陸前高田市VC ☎090・2852・9736 できるだけ2人以上で参加し、3日前までに連絡

◆大槌町社協VC ☎080・3518・8490 5人以上の団体で要事前登録。個人参加は県VCの盛岡発ボランティアバスを利用する

＜宮城県＞

各VCが県外からの個人ボランティアも受け付けている。詳細は各VCのサイトで。

◆仙台市VC ☎022・231・1326 5人以上での参加は先着50人まで、要事前申し込み

◆石巻市VC ☎0225・23・6015 10人以上の団体は要事前連絡

◆気仙沼市VC ☎080・5949・7475 10人以上の団体は3日前までに事前連絡

◆名取市VC ☎022・784・3029 団体は要事前問い合わせ

◆多賀城市VC ☎080・5949・7501

◆岩沼市VC ☎080・5949・7541 8人以上の団体は要事前申し込み

◆東松島市VC ☎0225・82・9812 車中泊スペースあり。土のう袋をなるべく持参。5人以上のグループは早めに事前申し込みを

◆亘理町VC ☎080・5949・7719 団体は要事前申し込み

◆山元町VC ☎080・5949・7720 要事前申し込み

◆七ヶ浜町VC ☎090・6853・4490 団体は要事前申し込み

◆南三陸町VC ☎080・2055・1066 県内外問わず団体も受け入れ中

＜福島県＞

◆県VC ☎024・522・6540

◆相馬市VC ☎0244・36・7827

◆南相馬市VC ☎0244・24・1877 公式ホームページで活動内容や注意事項の確認を

◆新地町VC ☎0244・62・5577 要電話確認。毎週木曜は活動休止日。テント泊、車中泊は禁止

◆いわき市VC ☎0246・22・5501 団体は要事前申し込み

◆電◆話◆帳◆

●行方不明者・震災関連相談ダイヤル
岩手県警 0120・801・471
宮城県警 022・221・2000
福島県警 024・522・2151（内線3024）

●医療
文部科学省健康相談ホットライン・放射線関連 0120・755・199（9〜18時）
放射線医学総合研究所相談窓口 043・290・4003（9〜17時）

●生活支援
日弁連電話相談0120・366・556（平日10〜15時）
岩手弁護士会 0120・755・745（月〜土曜13〜16時）
仙台弁護士会0120・216・151（平日10〜19時）
福島県弁護士会024・534・1211（平日14〜16時）
あしなが育英会 被災者専用 0120・77・8565（遺児らに特別奨学一時金を支給）
チャイルドライン 0120・99・7777（月〜土16〜21時、18歳までの子ども向け）
震災関連の悪質商法110番 0120・214・888（10〜16時）

●省庁 ※平日のみ
公営住宅等情報センター 0120・297・722（9〜18時。全国の公営住宅などを紹介）
住宅の補修・再建（国交省） 0120・330・712（月〜土）
行政相談（東北管区行政評価局） 0120・511・556
金融相談（東北財務局） 022・721・7078
中小企業相談（経産省） 0570・064・350
農林水産業の被害相談（農水省） 0120・355・567
年金の相談（日本年金機構）0120・707・118※

●金融・保険 ※平日のみ
預金口座照会センター（全国銀行協会） 0120・751・557※
災害地域生保契約照会センター（生保協会） 0120・001・731※
そんがいほけん相談室（日本損保協会） 0120・107・808※
携帯・PHSからは03・3255・1306※

●移転した役所
＜岩手県＞
陸前高田市 高田町鳴石 0192・54・2111
釜石市 シープラザ釜石 0193・22・8253
大槌町 大槌小学校 0193・42・2111
＜宮城県＞
女川町 女川第二小学校 0225・54・3131
南三陸町 町総合体育館ベイサイドアリーナ南側テニスコートの仮庁舎 0226・46・2600
＜福島県＞
広野町 FDKモジュールシステムテクノロジーいわき工場 0246・43・1331
楢葉町 会津美里町本郷庁舎0242・56・2155
富岡町 郡山・ビッグパレット 0120・336・466
川内村 郡山・ビッグパレット 0120・38・2119
大熊町 会津若松市追手町第2庁舎0242・26・3844
双葉町 旧埼玉県立騎西高校0480・73・6880
浪江町 県男女共生センター（二本松市）コールセンター 03・5638・5055
飯舘村 福島市飯野支所内024・562・4200
葛尾村 旧法務局会津坂下出張所 0242・83・0271

★一時立ち入り受付センター0120・208・066 警戒区域9市町村への一時立ち入りを申し込める。8〜20時